

問題解決的な学習の工夫

- **ねらい** 道徳の時間における問題解決的な学習の在り方を理解する。
- **時間** 60分
- **配付資料**
- (1) 「小（中）学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」第4章第3節の5 問題解決的な学習など多様な方法を取り入れた指導
 - (2) 読み物教材等
 - （例）小：「知らない間の出来事」（私たちの道徳 小学校5・6年P76～79）
 - 中：「二通の手紙」（私たちの道徳 中学校P140～145）
 - (3) 問題解決的な学習の授業構想シート【研修シートNo.4】
- ※読み物教材、研修シートは事前に配付し、各自、内容を確認しておく。

展開

	時間	内容
1	2分	<p>1 研修のねらい等を確認する。</p> <p>○ 道徳教育推進教師等が、研修のねらいや進め方を説明する。</p>
2	10分	<p>2 道徳の時間における問題解決的な学習の意義等を理解する。</p> <p>〔上記の配付資料(1)を配付〕</p> <p>○ 道徳教育推進教師等が、配付資料(1)「小（中）学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」を活用するなどして、問題解決的な学習の意義等を説明する。</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>【説明（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習とは、（小）実現するための問題を見つけ、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の考え方や感じ方を確かめたりと物事を多面的・多角的に考えながら課題解決に向けて話し合うことである。（中）生徒一人一人が生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習である。 ・問題解決的な学習では、教師と児童生徒、児童生徒相互の話し合いが十分に行われることが大切であり、教師の発問の仕方の工夫などが重要である。さらに、話し合いでは学習形態を工夫することもでき、一斉による学習だけでなく、ペアや少人数グループなどでの学習も有効である。 <p>〔小（中）学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編〕</p> </div>
	45分	<p>3 発問と学習形態の工夫の在り方を協議する。〔上記の配付資料(2)、(3)を配付〕</p> <p>○ 道徳教育推進教師等が、次の手順や内容等で進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 全体で協議の柱を確認する。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>【協議の柱（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値を多面的・多角的に考えることができるようにするため、発問や学習形態をどのように工夫すべきか。 </div> ② 個人で配付資料(2)「読み物教材等」を読み、ねらいとする道徳的価値の多面的・多角的な思考を促す発問や効果的な学習形態を考え、配付資料(3)「問題解決的な学習の授業構想シート」に記入する。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>【読み物教材（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小：「知らない間の出来事」（私たちの道徳 小学校5・6年P76～79） ・中：「二通の手紙」（私たちの道徳 中学校P140～145） </div> ③ 小グループで授業構想シートに記入したことを交流し、効果的な発問や学習形態の在り方を協議する。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>【協議の視点（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値について多面的・多角的な思考を促す「問い」とはどうあるべきか。 ・ねらいを達成するために有効な学習形態にするためには、どのような工夫が必要か。 </div> ④ 全体で小グループの協議内容を交流する。
3	3分	<p>4 今後の取組を確認する。</p> <p>○ 道徳教育推進教師等が、協議内容をまとめ、今後の授業改善の方向性を確認する。</p>

「私たちの道徳」の効果的な活用方法

- **ねらい** 「私たちの道徳」の効果的な活用方法を理解する。
- **時間** 60分
- **配付資料** (1) 「『私たちの道徳』活用のための指導資料」小：P 9～29 中：P 10～31
(2) 「私たちの道徳」の活用方法シート【研修シートNo. 5】
(3) 「私たちの道徳」
- **展開**

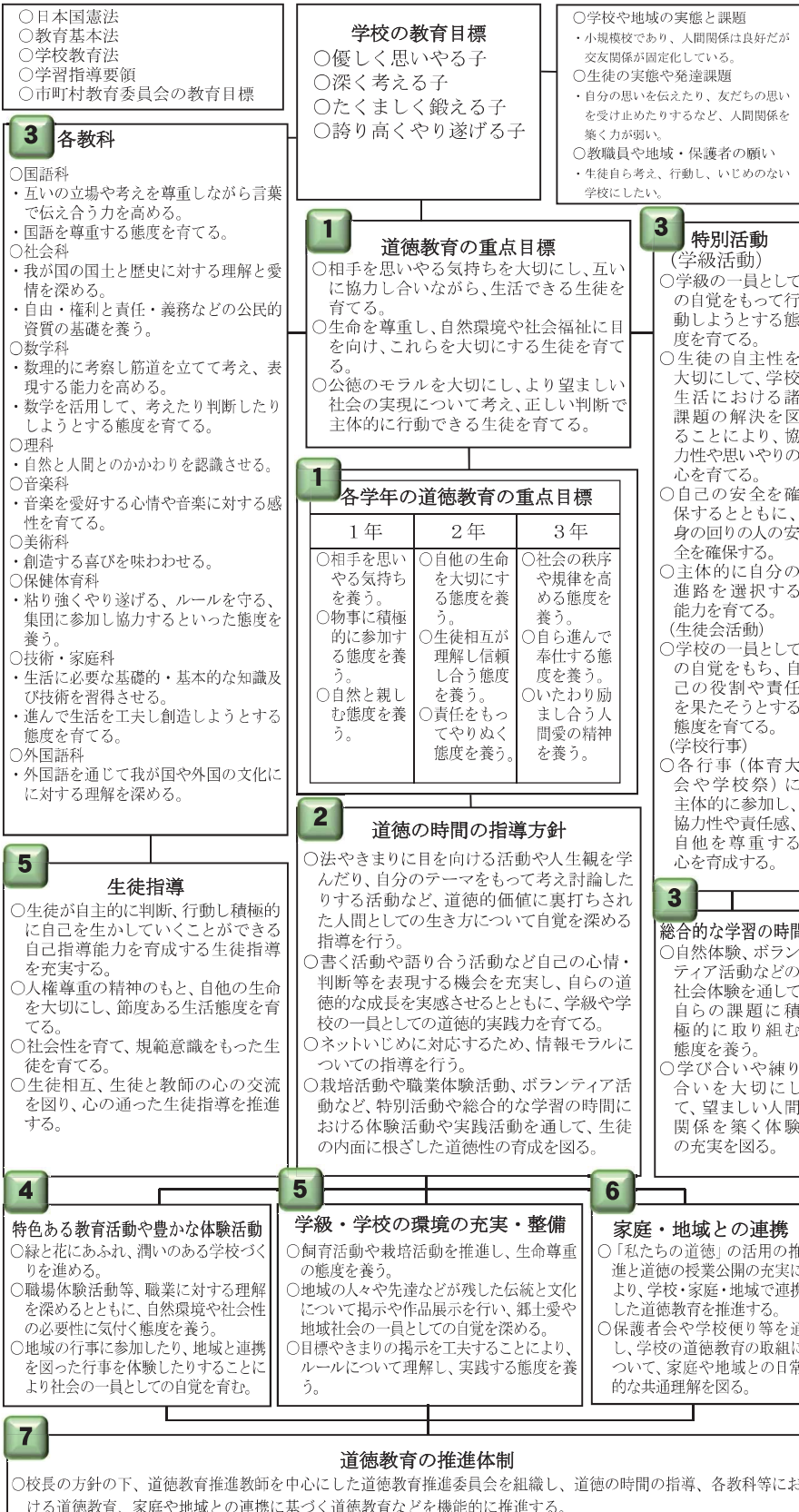
	時間	内 容
1	2分	<p>1 研修のねらい等を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育推進教師等が、研修のねらいや進め方を説明する。
2	10分	<p>2 「私たちの道徳」の活用方法等を理解する。〔上記の配付資料(1)を配付〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育推進教師等が、配付資料(1)「『私たちの道徳』活用のための指導資料」を活用するなどして、「私たちの道徳」の活用方法等を説明する。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【説明（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間での活用では、読み物資料やコラム、先人の格言などを活用して道徳的価値についての考えを深めたり、書き込み欄を活用して自分自身のことを振り返ったりすることができる。 ・各教科等においては、その目標や内容に応じて「私たちの道徳」の関連するページを活用し、児童生徒の道徳性を育成することができる。 ・「私たちの道徳」には、家庭や地域で話し合ったことを書き込んだり、家の人が書き込んだりする欄が多く設けられており、家庭や地域で広く活用できる。 <p style="text-align: right;">〔「私たちの道徳」活用のための指導資料〕</p> </div>
	45分	<p>3 「私たちの道徳」の効果的な活用方法を協議する。〔上記の配付資料(2)、(3)を配付〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育推進教師等が、次の手順や内容等で進める。 <ul style="list-style-type: none"> ① 全体で協議の柱を確認する。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【協議の柱（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちの道徳」を活用した実践の成果と課題を踏まえ、今後の活用方法をどのように工夫すべきか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ② 個人で配付資料(2)「『私たちの道徳』の活用方法シート」に、実践概要や成果、課題を記入する。 ③ 小グループで記入した内容を交流し、一層効果的な活用方法を協議する。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【協議の視点（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な活用に向けた課題と改善点は何か。 ・効果的な活用に向けて今後も継続して取り組むことは何か。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ④ 全体で小グループの協議内容を交流する。
3	3分	<p>4 今後の取組を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育推進教師等が、各グループから出された意見を踏まえ、後日行う校内の道徳教育推進委員会等で「私たちの道徳」の活用の方針等を検討することを確認する。

【研修シート No. 1】 道徳教育の全体計画のチェックシート

道徳教育の全体計画は、特に次の点において重要な意義をもちます。

- ① 豊かな人格形成の場として、各学校の特色や実態及び課題に即した道徳教育が展開できる。
- ② 学校における道徳教育の重点目標を明確にして取り組むことができる。
- ③ 道徳教育の要として、道徳の時間の位置付けや役割が明確になる。
- ④ 全教師による一貫性のある道徳教育が組織的に展開できる。
- ⑤ 家庭や地域社会との連携を深め、保護者や地域の人々の積極的な参加や協力を可能にする。

《道徳教育の全体計画例（中学校）》



全体計画に示すことが望まれる以下の事項を確認しましょう!!

- 1 □学校の教育目標、道徳教育の重点目標、各学年の重点目標
- 2 □道徳の時間の指導方針
〔年間指導計画を作成する際の観点や重点目標に関わる内容の指導の工夫、校長や教頭等の参加、他の教師との協力的な指導の方針を示す。〕
- 3 □各教科等における道徳教育の指導の方針、内容及び時期
〔重点内容項目との関連や各教科等の指導の方針を示す。また、各教科等の方針に基づいて進める道徳性の育成に関わる指導の内容及び時期を別葉に整理して示す。〕
- 4 □特色ある教育活動や豊かな体験活動における指導との関連
〔(小) 学校や地域の特色を生かした取組や集団宿泊活動、ボランティア活動、自然体験活動などの体験活動や実践活動における道徳性を養うための方針を示す。
(中) 学校や地域の特色を生かした取組や生徒指導と関連、職場体験活動、ボランティア活動、自然体験活動など生徒の内面に根ざした道徳性を養うための方針を示す。〕
- 5 □学級、学校の人間関係、環境の整備や生活全般における指導の方針
〔日常的な学級経営を充実させるための指導の方針を示す。〕
- 6 □家庭、地域社会、他の学校や関係機関との連携の方法
〔協力体制や道徳の授業公開、広報活動、保護者や地域の人々の参加や協力に関する方法を示す。〕
- 7 □道徳教育の推進体制
〔道徳教育推進教師の位置付けも含めた全教師による協力体制を示す。〕
- その他
〔次年度の計画に生かすための評価の記入欄、研修計画や重点的指導に関する添付資料等〕

【研修シート No.2】道徳教育の全体計画の別葉の作成構想シート

道徳教育の 重点目標	
---------------	--

(例) 小学校第2学年

内容項目等	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語活動	総合的な学習の時間	特別活動
(例) 道徳教育に関わる内容(時期) B10 友情、信頼	作文を読んで友達と感想を伝え合う。(10月)				遊びを工夫して友達と仲よく遊ぶ。(2月) 「ともだちとなかよく」P77	友達と一緒に声を合わせて歌う。(6月) 「ともだちとなかよく」P77	友達と活動しながら想像を広げる。(10月)		友達と協力して長縄跳びをする。(10月) 「ともだちとなかよく」P77			友達と仲よくするための方法を考える。(6月) 「ともだちとなかよく」P74、75